

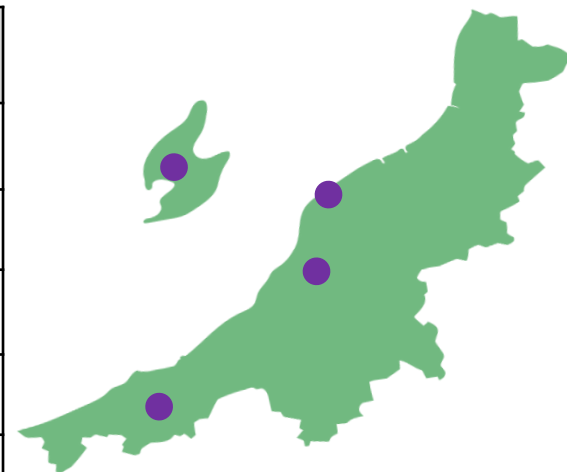
内閣府では2018年（平成30年）度から、**地方創生に向け優れたSDGsの取組**を提案する地方自治体を「**SDGs未来都市**」（約30団体/年度）として選定し、その提案の中で特に優れた先導的な取組を「**自治体SDGsモデル事業**」（約10団体/年度）として選定して支援し、成功事例の普及を促進しています。

この度、燕市の「ものづくりのまち」という地域資源を活かした提案が「**自治体SDGsモデル事業**」として選定されましたので、ご報告するとともに、選定された自治体のみには交付される「**地方創生支援事業費補助金**」を活用した本モデル事業について補正予算に計上させていただきます。



【参考】県内選定自治体

自治体名	選定年度	分類	事業名
見附市	R1	未来都市・モデル事業	「歩いて暮らせるまちづくり」 ウォーカブルシティの深化と定着
妙高市	R3	未来都市・モデル事業	みんなでつくる生命地域Redesignプロジェクト
佐渡市	R4	未来都市・モデル事業	ローカルSDGs佐渡島推進事業
新潟市	R4	未来都市・モデル事業	将来に向けた持続可能な食と農の創出プロジェクト
新潟県	R4	未来都市	豊かな自然としなやかに共存する 「住んでよしの新潟」



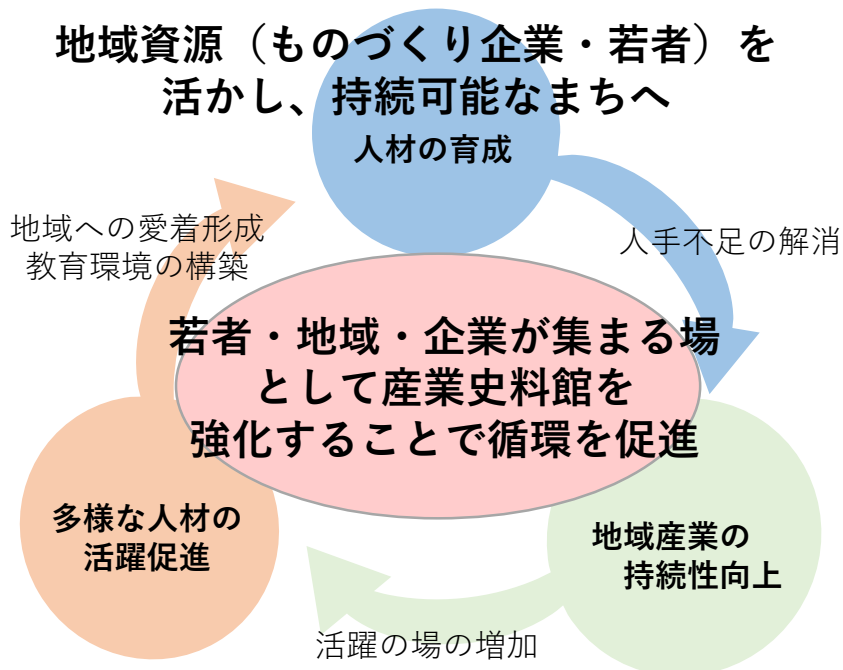
1.提案した自治体SDGsモデル事業の概要『ものづくりのまち・燕ならではの「シンカ」プロジェクト』

本市は、本市のものづくりを発信し体験できる「産業史料館」やインターンシップを通じた人材育成に積極的な「ものづくり企業」、主体的に活動する「若者」といった地域資源があります。また、長善プロジェクトといった独自の教育プログラムなどにより、郷土への愛着を育みながら、将来の燕市を担う人材の育成に取り組んでいます。

人口減少により地域を担う若者の減少や企業の人手不足が課題となる中、本市の地域資源や取組を活かした、さらなる地域活性化に向け、**基幹産業である「ものづくり」を核に、人が育ち、企業が成長し、多様な人材が活躍する場を創出するため、産業史料館の機能強化を図ります。**

具体的には、従来のものづくり体験に加え、3Dプリンターなどの最新技術によるものづくり体験ができるように機材を整備するとともに、若者や企業、地域が施設を訪れる機会の増加に向け、築150年の土蔵にショップ機能を付加して再生します。

これらの機能強化により、現在、燕中学校で取り組んでいるSTEAM教育を他校生徒が産業史料館で体験できるようになり、またワークショップの開催等を通じて若者と企業、地域のつながりが強まるなど、**急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材の創出や地域産業の持続性向上、地域全体のさらなる活性化が期待できます。**



【本事業が寄与する目標】

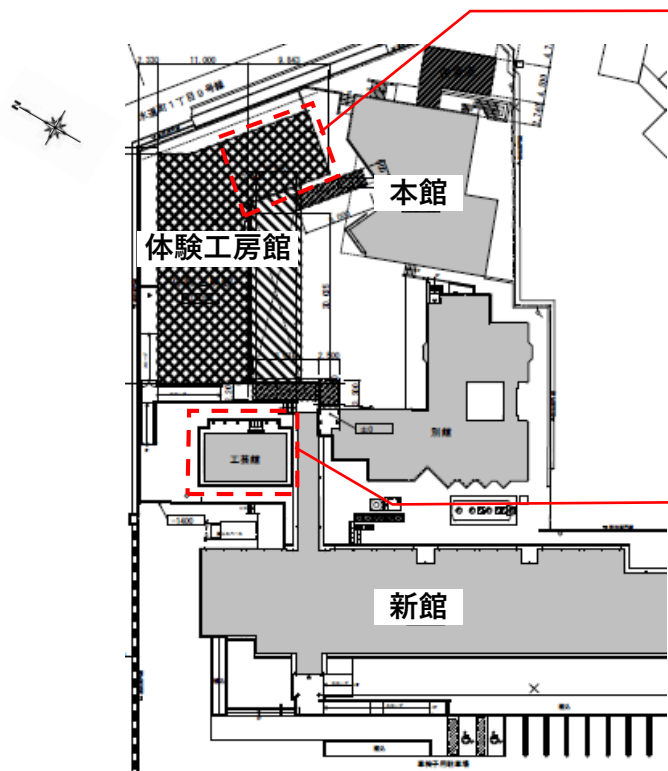
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>
----------------------	---------------------	--------------------------	-------------------------

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

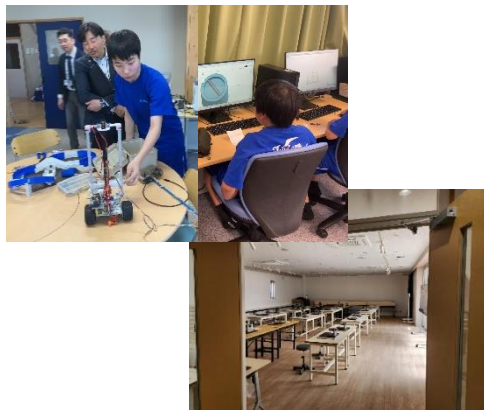


2.産業史料館機能強化（自治体SDGsモデル事業）の内容

○産業史料館の機能強化



体験工房館にデジタル機材の導入



従来のものでづくり体験に、デジタルを用いた最新のものでづくり体験を追加

- ・3Dプリンター
- ・レーザーマーカ
- ・PC（図面データを読み込むためのもの）

土蔵（旧工匠館）を再生



古民家を活用した地域再生の実績がある建築士カールベクス氏との協働により、より多くの若者・地域・企業が集う場所やショップとしての機能を付加して改修

※完成イメージ

○土蔵再生等のワークショップ



施設や地域への愛着を造成することを目的とし、改修の際に土蔵再生に関わるワークショップ、完成後に「ものづくり」をテーマに若者と企業、地域をつなぐイベント等を開催

○周知啓発



SDGsの考えに基づき、持続可能なまちづくりに関する周知啓発を図るため、ホームページを改修するとともに、動画などのコンテンツを作成

3. 補正予算額

(千円)

事業実施経費① 計 49,810						全体マネジメント・普及啓発② 計 10,000		
備品購入費	3Dプリンター	1,453	委託料	設計監理業務委託費	7,000	人件費	常駐スタッフの配置	1,343
	レーザーマーカ	2,406	工事請負費	土蔵の改修費	33,500	広報費	HPの改修費 動画・チラシ作成費	8,657
	PC	2,185	使用料	設計ソフト使用料	1,212			
消耗品	デジタル機材の付属品、イベント開催のための資材等	1,085	委託料	職員研修、機械保守ワークショップ等イベント開催	969			
						合計 (①+②) 59,810		

【特定財源】

- 地方創生支援事業費補助金 (いずれも上限10,000千円)
 - ①事業実施経費（工事請負費を除く）の 1/2 8,155千円
 - ②全体マネジメント・普及啓発等経費の10/10 10,000千円
- 地域活性化事業債（工事請負費に充当、充当率90%、交付税措置率30%） 30,100千円

4. スケジュール

令和6年度

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土蔵 (旧工匠館)	●	設計	→	●			改修工事			
				土蔵再生に 関わるWS		再生をテーマ とした講演会				HP改修 動画公開
体験工房館				地域企業との 協働企画			機材搬入			体験メニュー 追加
							職員研修		地域企業との 協働企画	